



区民の皆様へ

第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会

2014

第26号

平成26年11月1日発行

協議会だより

発行 第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会/会長：高見澤忠明

編集 総務広報部会 広報委員

生涯学習青少年育成部会(青少年委員会)

駅前繁華街防犯パトロール

～安心安全なまちづくり～



第五地区は長野駅前を控えて中心市街地に位置しておりますので、健全なまちを目指して定期的に長野駅前を中心に防犯パトロールを実施しております。

今回は学生が夏休み期間中に防犯パトロールを実施するとのことで、8月5日(火)夕方4時に長野駅前交番に、青少年委員会、各町交通安全推進委員、長野市青少年育成センター、防犯協会役員など関係者18名が集合しました。

この日は夏休みということもあり、通常ならば青少年は夕方4時半頃から集まっているが、この期間中は朝から夜まで行き交っているとのこと。長野駅前のロータリーでは、女子高生が帰宅のためバス停に列をなしておりますが、殆どがスマホやウォークマンに夢中となり、周囲の状況や音に反応が出来づらく、そこに近寄り盗撮をしたり、しつこく声を掛けて来る者がいるとのこと。

交番では警戒をして行為者に指導等を行っているが、次から次へ新たな者が入ってくるので苦慮しているとのこと。声を掛けられたら相手にせずにコンビニ等へ逃げ込んで助けを求めるなど、また通行する皆さんも、気になる場面を目撃したら交番に連絡いただければ警察官が駆けつけて対処してくれるとのこと。



千石街のゲームセンターには、プリクラで楽しむ若い女性が次から次へと出入りしておりました。ここでも良からぬ考えで出入りする者もいることから注意が必要な場所であり、自分がしっかりしていないと何らかの事件やアウトローとの接点が出来てしまうことを認識しました。



以前と比べると皆さまのお蔭で風紀は良くなっているとのことですが、日夜見守ってくれている交番所員のお蔭でもあることを痛感しました。今後も交番と連携を図りながら安心安全なまちづくりのため、防犯パトロールを行ってまいります。

生涯学習青少年育成部会(生涯学習委員会)

こころとからだの質問箱

～性ってなに?～



9月9日(火)に中御所公民館に住民約40名の参加で、講師に「川中島の保健室」を主宰する白澤章子さんをお迎えして標記のテーマに沿ってお話しいたきました。



「川中島の保健室」に寄せられる相談から、性の学習は一生のテーマ、豊かに生きるエッセンスなど、具体的に話され聴衆は話に引き込まれておりました。

「川中島の保健室」では子育ての応援、登校拒否、引きこもり、性の問題、家族の問題など、ボランティアで相談に応じてくれます。普段色々な悩みはよほど深刻でない限り、お医者さんや相談施設に行くほどでもないわけですが、誰かに聞いてほしい、そして一緒に考えて欲しいということで、大勢の相談者が訪れています。相談者の、帰る時にはスッキリした気分になる、今までの人生が変わって救われたなどの評判が口コミで広がり賑わっております。皆さんも気軽に相談してみたいかがですか。保健室は長野市川中島町1315-12 電話284-8220です。先ずは電話で予約を取って相談にお出かけくださいとのこと。

中御所防災訓練

～体験しながら防災の知識を学びました～



9月7日(日)中御所防災訓練が朝6時から2時間にわたり、中御所公民館で開催されました。篠原好一自主防災隊長他関係者と第五地区からも関係者が参加して総勢80名が、長野市中央消防署・長野市消防団長野第5分団の協力・指導で、地震・火災等の発生した場合に即応体制を図り、日頃からの確に対処できる必要な知識と技術を身につける訓練を受けました。

まず「午前5時20分頃、長野市周辺に震度6の地震が発生し、公民館でも食器戸棚等倒壊、ガラス窓破損、厨房より火災が発生し、会議室その他1階と2階に10名程度の人がいる」との想定で、訓練がはじまりました。

火災報知器のボタンを押して通報し、消火班が消火器を持ち、厨房入口付近にて火元に向けて消火、通報訓練では代表が消防局に実際に携帯電話で火災発生 of 119番通報をしました。消防局からは「自分の居場所、電話番号、火災・負傷者の状況ほか消防局からの問いに判る範囲で答えて下さい」とのことでした。また、自分の携帯電話の番号を覚えていない人が多いが、司令室で状況を把握する上で必要になる場合が多いので、なるべく覚えておいてほしいとのこと。避難訓練では、室内に煙が充満した暗い部屋の中を避難する訓練をしました。皆さん「戸惑ってしまった。こんなに大変だと思わなかった。」と良い体験ができたようです。



その他、消火器の取扱訓練、負傷者救護訓練、放水訓練などが行われ、参加者が交代で体験しました。最後に消防署の講評で、「今日の訓練の様子を家族にも話してください。そして災害の時にどこに避難したらよいか話し合ってください。自分たちの身は自分たちで守る自主防災を認識していただきたい。」とのことでした。

第五地区からのお知らせ

地域福祉活動計画について

～アンケートにご協力いただきありがとうございます～

日頃は第五地区住民自治協議会の発展にご尽力いただきまして、ありがとうございます。

近年私たちを取り巻く社会環境は、少子高齢化の進行、地域社会や家庭での人間的つながりの希薄化により、高齢者や障害者をはじめ生活支援を必要とする方には、厳しい状況になっております。

第五地区住民自治協議会では、第五地区にお住まいの皆さまが安全で安心して暮らしていけるよう、地域福祉活動計画を策定すべく、策定委員会を設置して取り組んでおります。

つきましては、過日地域住民の皆さまにアンケートで、どのように感じておられるか、どんなことを望んでおられるかなど貴重なご意見をご回答いただき、現在、地域福祉活動計画の策定作業に取り組んでおります。

お礼方々、地域福祉活動計画の進行状況をご報告させていただきます。



第五地区からのお知らせ

第五地区地域力向上支援金事業について

～第五地区で活動する団体に補助金交付が決まりました～

8月1日発行の協議会だより第24号でご案内しました、平成26年度 第五地区地域力向上支援金事業は、8月中に各団体から申し込みがあり、応募いただきました事業の中から選考委員会で支援対象事業を審議し、下記の事業に決定しました。地域の活性化や課題の解決に向けて、活用していただくことになりましたのでご報告します。



地 区	事業主体	事 業 名	事業概要	補助金額
北石堂町	北石堂町	地域のコミュニティ・防災情報源の確保のための機器整備	【液晶テレビ・ビデオ】町の公会堂を新築しており、ここで必要となるテレビ・ビデオを購入	192,000円
中御所区	九反祭典委員会	地域の伝統を守り、後継者の養成をすすめる	【リヤカー】祭りに使用しているリヤカーが老朽化し、支障をきたしているため、新たに購入する	108,000円
未広町	協同組合ナガノ駅前センター	安全・安心なまちづくり	【AED】県都の玄関口に位置し、長野を訪れる人の増加が予想されることから、未広町と連携し、AEDを設置する	200,000円
合 計				500,000円

各町からのお知らせ



中御所
より

夏のお楽しみ会 ～裾花児童センター・子どもプラザ～

裾花小学校区の裾花児童センター・子どもプラザ（館長・施設長：渡辺康子さん）では、夏休みに入った7月31日（木）に沢山の児童が集まりお楽しみ会が開催されました。

この施設は、児童センターと子どもプラザの施設を活用して、放課後等における児童の安全で安心な居場所を提供するとともに、遊び・学習・集団活動・異学年交流を通じて児童がルールやマナーを身につけたり、体力・創造力を向上させたりすることを目的とするもので、友達と仲良く遊ぶ施設です。平成7年に長野市が開設し、現在は長野市社会福祉協議会が指定管理者として運営しております。長野市内には約90の施設（センター+プラザ）があります。「裾花児童センター・子どもプラザ」は、学校授業日、土曜日、学校休業日に開設し、小学校1年生から3年生の、帰宅しても保護者が留守の登録児童を預かっております。児童はセンター87名、プラザ82名が登録しております。職員は館長、コーディネーター、指導員、代替職員です。

年間行事は、安全指導・お話の会・誕生会・避難訓練・交通安全教室・お楽しみ会・クリスマス会・進級お祝い会など様々実施されており、他に保護者会・運営委員会・小学校との連絡会等も行われ、地域・学校と連携を図っております。



今回のお楽しみ会は朝、集会室で宿題をした後、遊戯室に約110名の児童が集まり、館長先生から「1年生は2年、3年生がどうしているかを見て、しっかりしたお姉さん、お兄さんになりましょう。2年生は3年生を見習いましょう。3年生は2年生、1年生のお手本になりましょう。今日飾るために七夕の短冊をつくりました。夢、希望、目標それぞれ願いが叶いますよう頑張りましょう。」とあいさつがあり、ボランティアグループのどんぐりさん8名によるお話と大型紙芝居「天狗とカッパと雷さん」を真剣に聞き、見入っておりました。そのあと、各自下絵を描いてのりづけするうちわ作りを行い、庭ではみんな美味そうにすいかにかぶりついておりました。

職員は「ここを巣立った子どもたちと何年か後にあった時に、立派に育っている姿を見ると喜びを感じます」と語っておりました。

北石堂町
より

かるかや縁日

刈萱山 西光寺の縁日が7月31日（木）と8月1日（金）の2日間行われました。

7月31日には刈萱山西光寺境内で屋台が出され、焼き鳥、たこ焼き、焼きそばなど販売され、千客万来の福引、境内イベントとして、ふうてんの寅さんなど数々の出し物が演じられました。

2日目は西光寺南側の錦町通りでも、屋台が並びストリートイベントが行われ、真田勝鬨太鼓、ロックバンドなど熱演され、道路上の椅子席ではビールなど飲みながら鑑賞しておりました。



西光寺は浄土宗の寺院で、通称「かるかや山」、本尊は阿弥陀如来で、絵解きの寺として広く知られております。西光寺に伝わる2体の地蔵菩薩像は「刈萱親子地蔵」と称され、刈萱道心と石堂丸がそれぞれに刻んだものとされており、地元はもとより多くの観光客が訪れております。境内には玉取稻荷神社が鎮守として祀られており毎年9月に祭礼がおこなわれ大勢の参拝客が訪れます。



各町からのお知らせ

南石堂町 より

『蟻の市』今年も盛大に開催

日中は猛暑日で37.1℃を記録した7月31日（木）日が暮れてから、真夏の風物詩としてお馴染みの「蟻の市」が、南石堂町商店街振興組合主催で商店街の駐車場で開かれました。夕涼みがてら仕事帰りのサラリーマン・OL、家族連れ、地元をはじめ近郊から大勢の方が詰めかけ、開店時間の5時30分には用意された沢山のテーブルはほぼ満席状態になりました。日中の暑さから生ビール・おつまみの出店には長蛇の列ができ、買う順番が来るまで長時間を要し、テーブルで待っている仲間はイライラしておりました。1階では子どものためのキャラクターショー・射的・金魚すくい・無料の綿あめが準備され、どこにこんなに子どもが住んでいるのかと思うほどの子どもで賑わいました。

また、衣料品・化粧品・植木・雑貨・食料品などが出店しており、格安なため飛ぶように売れておりました。



6時30分から今回の目玉の「サンバカーニバル」が開かれ、本場ブラジルからの9人の踊り子によるショーには、おじさん方は目を輝かせて飲むのも忘れて真剣に見入っておりました。

8時前から天気予報通り、突然猛烈な雷雨に見舞われ、皆さんテントの下や1階の駐車場に避難して、それぞれ雨が止むまで雰囲気を楽しんでおりました。

翌日の8月1日（金）も開催され、大勢詰めかけておりました。「蟻の市」は今回59回目を迎え、関係者の皆さんの努力で年々盛大になっております。来年は人間でいえば還暦を迎えます。まちの賑わい創出のため、今後とも長く続き、ますます発展しますこと祈念します。



中御所 より

子どもみこし

朝から強い日差しが照りつけ、午前中に高温注意情報が出された8月2日（土）午後1時に、中御所子どもみこしが長野びんずるの前哨戦として、中央通り新田町交差点から善光寺を目指して出発しました。35.7℃の猛暑の中、第一から第五地区住自協会長の先導で、新調したはっぴをおった子どもたちと役員・親御さん総勢約100名、参加中、最大の連で、元気よくおみこし、太鼓を引っ張っていきました。

また当日は、かるかや山交差点から新田町交差点の間の中央通りでは、働く車



ショーでいろいろな作業車が展示され、子どもたちは興味深そうに乗り込んで真剣に運転のマネをしておりました。また、各種路上パフォーマンスとして、いろいろな出し物が披露され、観衆はそれぞれの出し物の前に集まり、うちわを片手に見入っておりました。



事務局

第五地区の活動にご意見、ご提案がありましたら、各町の区長さんまたは、事務局にお問い合わせ下さい。

〒380-0835
長野市大字南長野新田町1485番地1
もんぜんぶら座8階 第一から第五地区合同事務所

TEL 262-1512 (FAX共通)
メール dai5@feel.ocn.ne.jp